

2020 年度 卒業論文

「スポーツにおける知名度の違いと向上の条件」

学籍番号 17161372

氏名 伊藤雄至

# 目次

1.はじめに.....	-3-
1-1.研究の背景と目的.....	-3-
2.スポーツの起源と定義.....	-3-
3.本論.....	-4-
3-1.スポーツにおける認知度調査.....	-4-
3-2.スポーツごとの集客状況.....	-10-
3-3.スポーツごとの歴史.....	-16-
3-4.スポーツにおける教育の重要性.....	-18-
4.分析結果及び結果からの考察.....	-19-
5.おわりに.....	-19-
5-1.まとめ.....	-19-
5-2.課題.....	-20-
参考文献.....	-20-

## 1. はじめに

### 1-1. 研究の背景と目的

人間の活動の一つである運動。その運動という枠の中にスポーツと呼ばれるものがある。スポーツは、人が狩猟を行ってきた時代から近年ではeスポーツと呼ばれる新たなスポーツが誕生するなど、歴史が長い。現代ではたくさんのスポーツがあり、どのスポーツの中にも必ず競技者と呼ばれる人がいる。ただ、スポーツの中にも認知度に差があると私は思う。TVやネットニュースで報道され、ほとんどの人が経験したことがあるメジャーなスポーツと名前すらあまり知られておらず経験した人も少ないマイナーなスポーツの2つに分類される。私も大学でラクロスと呼ばれるスポーツを行っているが大学に入るまでラクロスについては全く知らなかった。何故こうもスポーツにおいて差ができるのかを不思議に思ったのが研究の動機である。

本研究ではスポーツにおける認知度、興味、歴史、目的に着目し、スポーツが人の心を与える認知度の差に結びついているのか、検討することを目的としている。

## 2. スポーツの起源と定義

競技によっては紀元前に遡り、儀礼、裁判、祭典が起源であるものも存在するが、高橋(2001)によるとスポーツ史においては多くの論文が、身体修練(Leibesübung: physical exercise)、肉体修練(Körperübung: bodily exercise)、スポーツ(Sport: sport)の起源といった観点から考察している。「スポーツ」という言葉の語源は、ラテン語で“運び去る”や“気分転換をする”を意味する「deportare」。それが中世フランス語では気晴らしをする、遊ぶ、楽しむという意味の「desport」となり、14世紀にイギリスで「disport」として使用される。これが省略されて、16世紀に「sporte」「sport」になったと言われている。スポーツはそもそも、競技ではなく楽しむための遊びだったとされる。日本で「スポーツ」という言葉が定着したのは大正時代、当時はテニスや野球などの欧米から入った競技のみを指しており、空手や柔道などの武道もスポーツに含めるようになったのは、第二次世界大戦後である。1970年代以降には、スポーツが世界共通語となり、スポーツ科学の可能性も議論されるようになったことによって、身体(肉体)修練や体育ではなくスポーツと表記する論文が多くなってきている。つまり、スポーツの定義は「学者の数だけある」とされている。

### 3. 本論

#### 3-1. スポーツにおける認知度調査

##### ○調査目的、方法

・メジャースポーツとマイナースポーツで認知度にどれくらいの差が出るのかを調べるため Google のアンケート機能を活用し、調査を行った。

・メジャースポーツ枠にサッカー、準メジャースポーツ枠でラグビー、マイナースポーツ枠にラクロスとそれぞれ設定し、年齢、性別、スポーツにおける思いなどをアンケート項目に設定し、知人 19 人に協力してもらった。

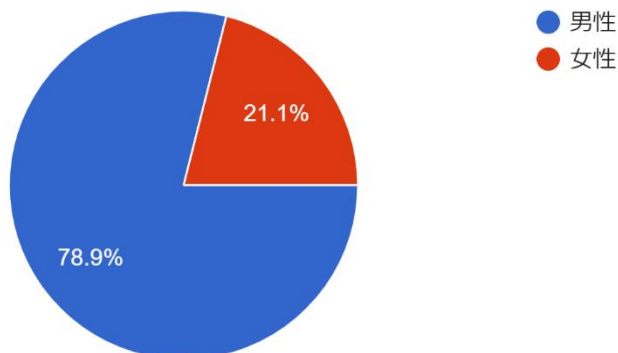
・回答として相応しくないものは削除し、新たにグラフを作成し、表示している。

・アンケートのほかに「共起語検索」というツールを使った。Google の検索ワード TOP30 サイトを母集団に共起語を抽出する。検索ワードを入力すると、共起語として認識されていると思われる単語を出力するツールを使い調査を行った。

・ Google アンケート

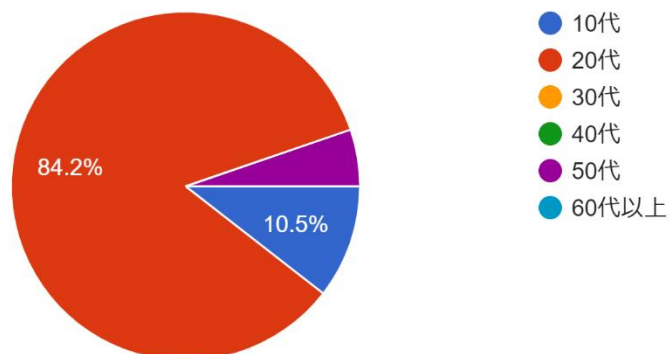
性別をお答えください。

19 件の回答



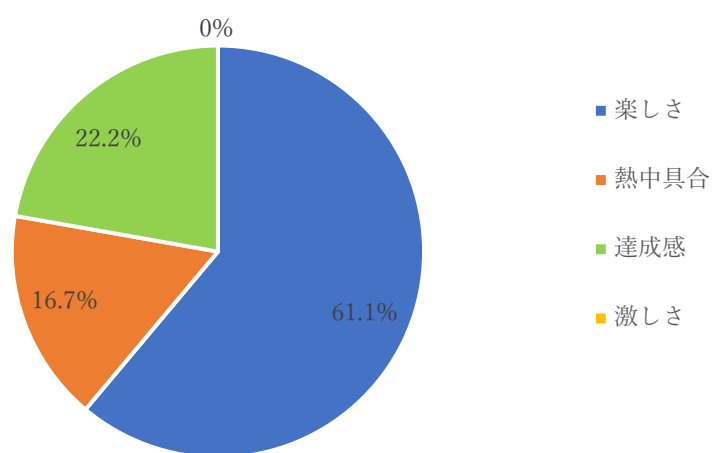
年齢をお答えください。

19件の回答

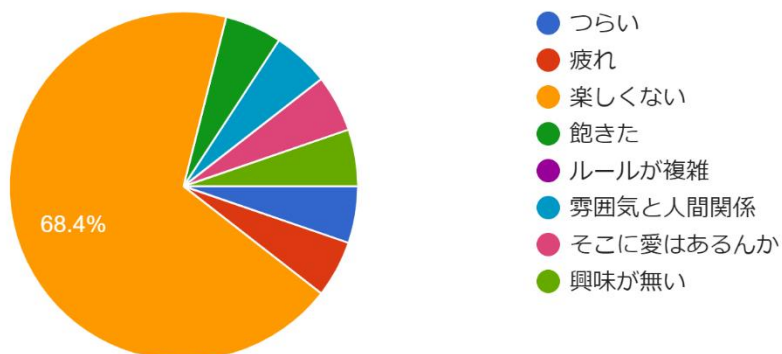


あなたがスポーツ（種目）に求める・好きなもの・  
選択する時の決め手ははどれですか？

18件の回答

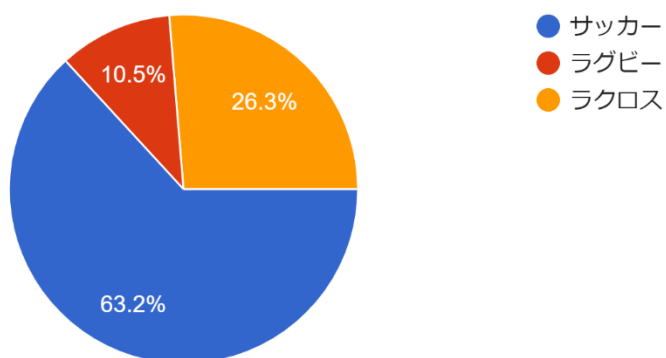


あなたがスポーツ（種目）をする時、決...いこと・嫌だ思うことはどれですか？  
19件の回答

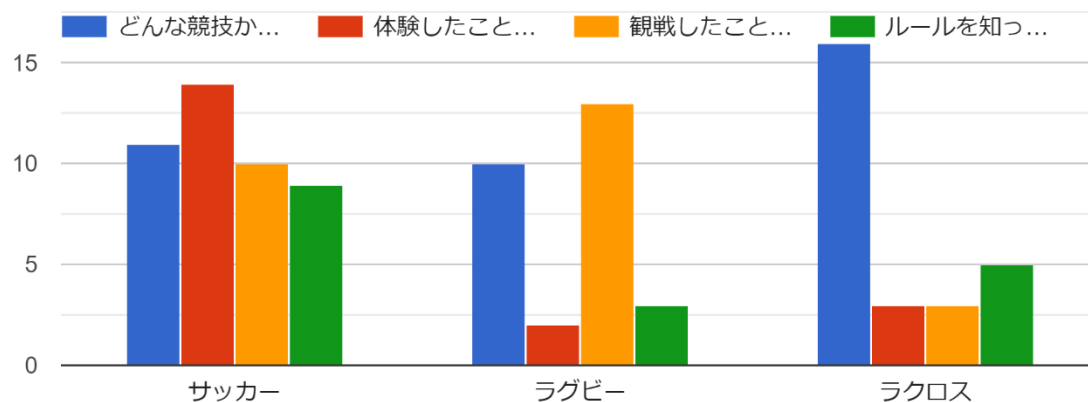


補足：あなたがスポーツ（種目）をする時、決め手にならないこと・嫌だ思うことはどれですか？

あなたの好きなスポーツを教えてください...れの経験をもとにお答えください。)  
19件の回答



あなたの理解度を教えてください。



補足：

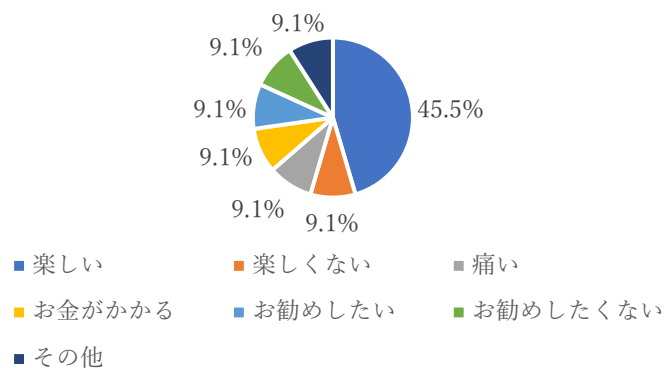
青 どんな競技かわかる。

赤 体験したことがある。

橙 観戦したことがある（現地観戦、メディア観戦も含む）。

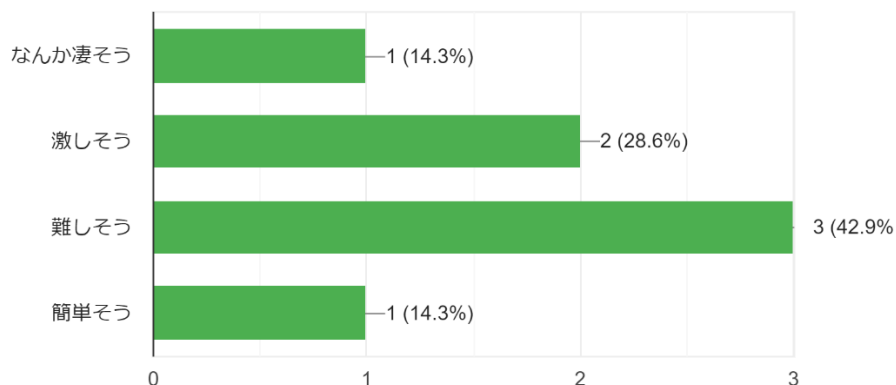
緑 ルールを知っている。

はいと答えた方に質問です。あなたの考えを教えてください。  
11件の回答



いいえと答えた方に質問です。あなたのイメージを教えてください。

7件の回答



アンケート結果からスポーツをするうえで「楽しむ」という感情が一番大きく関わっていることが判明した。私自身も様々なスポーツを経験してきたが楽しいと思えたスポーツが長続きしたのは間違いなことである。そのうえでメジャースポーツは学校授業や習い事などで触れることがあるので体験したことがある、ルールを理解したり、観戦した人はやはり多かった。驚かされたのはラクロスの理解度データで「ルールを理解している」項目であった。よく自分がラクロスの話をすると不思議に思われることがあるのでこういった結果になることを予想しておらず、経験者である私からすると嬉しい限りだ。しかしどんなスポーツか理解している反面難しいイメージを持たれているのは間違っていないと思うし、今後の課題にもなると思った。

#### ・共起語検索

共起語とは、任意キーワードの文章を書くにあたって「キーワードと合わせて使用される確率が高いワード」である。共起語検索でそれぞれ「サッカー」、「ラグビー」、「ラクロス」の単語で検索し、TOP30内のTOP6をグラフにしてみた。スポーツの横の数字はその単語の検索数である。

共起語検索						
検索ワード	サッカー (372)		ラグビー (253)		ラクロス (648)	
1	日本	219	日本	234	女子	114
2	代表	156	大会	185	ボール	100
3	JFA	125	代表	138	日本	100
4	リーグ	107	ラグビーW杯	118	スポーツ	74
5	大会	103	インパウンド	105	男子	71



6	ニュース	95	試合	105	大会	70
---	------	----	----	-----	----	----

TOP6までに上がってくる単語はどのスポーツも「日本」「大会」が検索されており、日本代表や各スポーツの大会のことが検索されていた。スポーツ特有のものになるとサッカーだとJFA（日本サッカー協会）やN I K Eや靴、ラグビーだとインバウンド（外国人が訪れてくる旅行のこと。）やニュージーランドなどの外国名、ラクロスだと女子（女子の競技人口が多いため）、ルール、競技という検索があった。メジャーであればメジャーなものが検索され、マイナーものであればスポーツ自体を調べられるのはやはり認知度がかかわってくるのであろうと思った。

### 3-2. スポーツごとの集客状況

3-1 で行った 2 つの分析からスポーツ（サッカー、ラグビー、ラクロス）の楽しさと思う気持ちがあるなら試合を見る人が多いのではないかと考察し、試合や大会に注目してどのくらいの集客状況があるのかを調査した。

#### ○調査方法

- ・インターネットにある公式サイトを基に、**観客動員数・スタジアム場所、年間総動員数、平均**を Excel でグラフにまとめる。
- ・グラフの順番は観客動員数の多い試合の順番に並べている。
- ・試合はラクロスに他スポーツの様なクラブチームや実業団のシステムが存在しないためデータを平等にするためサッカー、ラグビーは 2018 年、2019 年の「**大学選手権**」の試合を採用している。
- ・ラクロスのみ大学選手権ではなく「**関東学生リーグ戦**」2018、2019 年のデータを採用している。大学選手権のデータが集めることが出来なかつたため「**関東学生リーグ戦**」を採用している理由である。

#### ○分析結果

- ・2018 年サッカーデータ

年	試合	進み具合	観客動員数 (人)	会場・名	会場・都道府県
2018	法政大学vs駒澤大学	決勝	6,012	浦和駒場スタジアム	埼玉
2018	早稲田大学vs北海道教育大学岩見沢校	2回戦	1,076	味の素スタジアム西が丘	東京
2018	順天堂大学vs法政大学	準決勝	976	味の素スタジアム西が丘	東京
2018	順天堂大学vs関西大学	2回戦	925	味の素スタジアム西が丘	東京
2018	関西学院大学vs東洋大学	2回戦	608	浦安市運動公園陸上競技場	千葉
2018	IPU・環太平洋大学vs東洋大学	1回戦	527	浦安市運動公園陸上競技場	千葉
2018	新潟医療福祉大学vs法政大学	2回戦	517	浦安市運動公園陸上競技場	千葉
2018	早稲田大学vs順天堂大学	準々決勝	485	味の素スタジアム西が丘	東京
2018	筑波大学vs仙台大学	2回戦	469	柏の葉公園総合陸上競技場	千葉
2018	東海学園大学vs新潟医療福祉大学	1回戦	462	浦安市運動公園陸上競技場	千葉
2018	静岡産業大学vs大阪体育大学	2回戦	434	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	埼玉
2018	明治大学vs福岡大学	2回戦	428	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	埼玉
2018	桃山学院大学vs駒澤大学	2回戦	410	柏の葉公園総合陸上競技場	千葉
2018	筑波大学vs駒澤大学	順々決勝	337	柏の葉公園総合陸上競技場	千葉
2018	駒澤大学vs大阪体育大学	準決勝	322	NACK5スタジアム大宮	埼玉
2018	関西学院大学vs法政大学	準々決勝	309	浦安市運動公園陸上競技場	千葉
2018	北海道教育大学岩見沢校vs日本文理大学	1回戦	277	Shounan BMWスタジアム平塚	神奈川
2018	札幌大学vs福岡大学	1回戦	226	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	埼玉
2018	順天堂大学vs四国学院大学	1回戦	222	Shounan BMWスタジアム平塚	神奈川
2018	桃山学院大学vs鹿屋大学	1回戦	214	柏の葉公園総合陸上競技場	千葉
2018	福岡大学vs大阪体育大学	準々決勝	206	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	埼玉
2018	常葉大学浜松キャンパスvs仙台大学	1回戦	187	柏の葉公園総合陸上競技場	千葉
2018	静岡産業大学vs松山大学	1回戦	121	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	埼玉
合計	15,750				
平均	685				

・2019年サッカーデータ

年	試合名	進み具合	観客動員数(人)	会場・名	会場・都道府県
2019	明治vs桐蔭横浜大学	決勝	6,084	浦和駒場スタジアム	埼玉
2019	びわこ成蹊スポーツ大学vs筑波大学	2回戦	924	味の素フィールド西が丘	東京
2019	明治大学vs中京大学	2回戦	860	味の素フィールド西が丘	東京
2019	明治大学vs筑波大学	準々決勝	725	味の素フィールド西が丘	東京
2019	中央大学vs仙台大学	2回戦	610	AGF フィールド	東京
2019	明治大学vs関西学院大学	準決勝	535	浦和駒場スタジアム	埼玉
2019	桐蔭横浜大学vs中央大学	準決勝	523	NACK5スタジアム大宮	埼玉
2019	福岡大学vs法政大学	2回戦	501	柏の葉公園総合競技場	千葉
2019	新潟医療福祉大学vs立正大学	2回戦	487	浦安市運動公園陸上競技場	千葉
2019	関西学院大学vs東海学園大学	2回戦	481	浦安市運動公園陸上競技場	千葉
2019	鹿屋大学vs新潟医療福祉大学	1回戦	415	川口市青木町公園総合運動上陸上競技場	埼玉
2019	桐蔭横浜大学vs常葉大学浜松キャンパス	2回戦	367	柏の葉公園総合競技場	千葉
2019	IPU・環太平洋大学vs大阪体育大学	2回戦	356	AGF フィールド	東京
2019	宮崎産業経営大学vsIPU・環太平洋大学	1回戦	319	AGF フィールド	東京
2019	東北学院大学vs東海学院大学	1回戦	283	川口市青木町公園総合運動上陸上競技場	埼玉
2019	仙台大学vs桃山学院大学	1回戦	283	AGF フィールド	東京
2019	関西学院大学vs立正大学	準々決勝	272	川口市青木町公園総合運動上陸上競技場	埼玉
2019	中央学院vs大阪体育大学	準々決勝	265	AGF フィールド	東京
2019	桐蔭横浜大学vs法政大学	準々決勝	260	柏の葉公園総合競技場	千葉
2019	びわこ成蹊スポーツ大学vs福山大学	1回戦	253	浦安市運動公園陸上競技場	千葉
2019	福岡大学vs北海道教育大学岩見沢校	1回戦	241	柏の葉公園総合競技場	千葉
2019	北陸大学vs常葉大学浜松キャンパス	1回戦	213	柏の葉公園総合競技場	千葉
2019	高松大学vs中京大学	1回戦	201	浦安市運動公園陸上競技場	千葉
合計：15,458					
平均：672					

・2018年ラグビーデータ

年	試合	進み具合	観客動員数(人)	会場・名	会場・都道府県
2018	帝京大学vs天理大学	準決勝	21,934	秩父宮ラグビー	東京
2018	明治大学vs早稲田大学	準決勝	21,426	秩父宮ラグビー	東京
2018	天理大学vs明治大学	決勝	20,055	秩父宮ラグビー	東京
2018	帝京大学vs流通経済大学	準々決勝	12,206	秩父宮ラグビー	東京
2018	慶応義塾大学vs早稲田大学	準々決勝	11,397	秩父宮ラグビー	東京
2018	大東文化大学vs天理大学	準々決勝	6,084	キンチョウスタジアム	大阪
2018	立命館大学vs明治大学	3回戦	5,094	キンチョウスタジアム	大阪
2018	東海大学vs明治大学	準々決勝	5,065	キンチョウスタジアム	大阪
2018	慶応義塾大学vs京都産業大学	3回戦	4,284	キンチョウスタジアム	大阪
2018	大東文化大学vs筑波大学	3回戦	1,649	熊谷ラグビー場	埼玉
2018	流通経済大学vs福岡工業大学	3回戦	1,262	熊谷ラグビー場	埼玉
2018	朝日大学vs福岡工業大学	2回戦	1,038	パロマ瑞穂ラグビー場	愛知
2018	福岡工業大学vs北海道大学	1回戦	686	ミクニワールドスタジアム北九州	福岡
合計：112,180					
平均：8,629					

・2019年ラグビーデータ

年	試合	進み具合	観客動員数(人)	会場・名	会場・都道府県
2019	明治大学vs早稲田大学	決勝	57,345	国立競技場	東京
2019	明治大学vs東海大学	準決勝	21,513	秩父宮ラグビー場	東京
2019	天理大学vs早稲田大学	準決勝	18,232	秩父宮ラグビー場	東京
2019	明治大学vs関西学院大学	準々決勝	13,070	秩父宮ラグビー場	東京
2019	筑波大学vs東海大学	準々決勝	11,813	秩父宮ラグビー場	東京
2019	天理大学vs流通経済大学	準々決勝	9,316	東大阪市花園ラグビー場	大阪
2019	日本大学vs早稲田大学	準々決勝	7,980	東大阪市花園ラグビー場	大阪
2019	同志社大学vs筑波大学	3回戦	7,478	東大阪市花園ラグビー場	大阪
2019	関西学院大学vs朝日大学	3回戦	6,430	東大阪市花園ラグビー場	大阪
2019	日本大学vs京都産業大学	3回戦	4,003	熊谷ラグビー場	埼玉
2019	帝京大学vs流通経済大学	3回戦	3,296	熊谷ラグビー場	埼玉
2019	九州共立大学vs朝日大学	2回戦	2,269	ミクニワールドスタジアム北九州	福岡
2019	朝日大学vs八戸大学	1回戦	960	岐阜メモリアルセンター長良川球技メドゥ	岐阜
合計:	163,705				
平均:	12,593				

・2019年のラクロスデータ

- \*1 数値…MC報告の数値。観戦エリアにいる全ての来場者（控え部員、スカウティングも含む）
- \*2 区分…入力欄の優先順位は左から順（例：「初戦がWelcomeMatch」の場合、「WelcomeMatch」の項目に含まれ、「初戦」の項目には含まれない）。プレーオフは入替戦に含む。WM…集客試合と呼ばれるもので選手紹介やBGMなどの演出を加えた普段行っている試合より豪華な試合となっている。
- \*3 有料試合（開幕戦、準決勝戦、決勝戦；グレー部分）…次の合計数値には反映されない（男女別合計／月別合計／休日平日別合計／施設別合計／部別合計）。通常の試合の状況を把握するため。
- \*4 初戦、準WelcomeMatch…同じ試合でも、チームによって「準WelcomeMatch/一般試合」、「初戦/一般試合」というように、区分が変わる場合がある。
- \*5 リーグ戦試合数… [全体：251（男：114、女：137）] [無料試合：243（男：110、女：133）] [ブロック戦（開幕戦除く）：220（男：99、女：121）]  
 （2018年よりも●試合増減／【2018】全体：●（男：●、女：●）／ブロック戦（開幕戦除く）・プレーオフ・入替戦：●（男：●、女：●）／ブロック戦（開幕戦除く）：●（男：●、女：●）
- \*6 来場者数確認中…全7試合  
 男子：1試合…【3部】①東京経済 vs 成城  
 女子：6試合…【1部】①法政 vs 慶應義塾 ②学習院 vs 明治 【3部】③東京理科 vs 東京家政 ④日本 vs 東京女子 ⑤上智 vs 武蔵 【4部】⑥実践女子 vs 国際基督教"

【1】 人数（※来場者数確認中の試合：11 試合／詳細は表【2】の欄外を参照）

日程	合計 (全部)	合計 (無料)	男子 *3	女子 *3	8月 *3	9月	10月 *3	11月 *3
合計	71,655	58,194	27,849	30,345	20,116	21,078	5,488	9,797
1 試合平均	290	243	255	233	419	220	134	228
	12月	休日 *3	平日 *3	開幕戦 *3	準決勝 *3	決勝 *3	入替	WM
合計	1,715	48,636	9,558	4,598	4,033	4,830	8,010	18,398
1 試合平均	156	247	228	2,299	1,008	2,415	308	575
	準 WM	初戦	一般					
合計	10,073	4,701	17,013					
1 試合平均	280	154	149					

グラウンド名	公共 G *3	大学 G	江戸川区 臨海競技 場（東 京）	駒沢オリ ンピック 公園総合 運動場第 一球技場 （東京） *3	駒沢オリ ンピック 公園総合 運動場第 二球技場 （東京） *3	駒沢補	アミノバ イタルフ ィールド （東京）	富士通ス タジアム 川崎（神 奈川） *3
合計	29,818	28,376	2,470	8,686	6,154	—	1,797	3,404
1 試合平均	304	201	247	362	769	—	599	681
	葛飾区奥 戸総合ス ポーツセ ンター陸 上競技場 （東京）	フクダ電 子スクエ ア（千 葉）	フクダ電 子フールド （千葉）	海老名中 野公園 （神奈 川）	よみうり ランド （東京）	大宮けん ぼグラウ ンド（埼 玉）	白井運動 公園陸上 競技場 （千葉）	横河電機 武蔵野ゲ ラウンド （東京）
合計	2,205	1,880	858	351	—	1,477	320	216
1 試合平均	368	171	123	117	—	106	80	72

リーグ	男1部 *3	男2部	男3部	女1部	女2部	女3部	女4部
合計	12,884	7,213	3,900	12,888	5,857	5,484	1,769
1試合平均	444	240	100	477	189	152	84

【2】 試合数

日程	合計 (全部)	合計 (無料)	男子 *3	女子 *3	8月 *3	9月	10月 *3	11月 *3
試合数	247	239	109	130	48	96	41	43
	12月	休日 *3	平日 *3	開幕戦 *3	準決勝 *3	決勝 *3	入替	WM
試合数	11	197	42	2	4	2	26	32
	準WM	初戦	一般					
試合数	36.0	30.5	114.5					

グラウンド名	公共 G *3	大学 G	江戸川区 臨海競技 場（東 京）	駒沢オリ ンピック 公園総合 運動場第 一球技場 （東京） *3	駒沢オリ ンピック 公園総合 運動場第 二球技場 （東京） *3	駒沢補	アミノバ イタルフ ィールド （東京）	富士通ス タジアム 川崎（神 奈川） *3
試合数	98	141	10	24	8	0	3	5
	葛飾区奥 戸総合ス ポーツセ ンター陸 上競技場 （東京）	フクダ電 子スクエ ア（千 葉）	フクダ電 子フィールド （千葉）	海老名中 野公園 （神奈 川）	よみうり ランド （東京）	大宮けん ぼグラウ ンド（埼 玉）	白井運動 公園陸上 競技場 （千葉）	横河電機 武蔵野グ ラウンド （東京）
試合数	6	11	7	3	0	14	4	3

リーグ	男1部	男2部	男3部	女1部	女2部	女3部	女4部
試合数	29	30	39	27	31	36	21

・2018年、2019年の比較データ

年	男子	女子	小計	開幕戦	合計	準決勝	決勝	入替戦	その他	合計	無料試合	総計	男子	女子	他	合計	備考						
	開幕戦除く												ブロック戦	プレーオフ				合計	試合数				
2018	18,895 ※	25,059 ※	43,954 ※	4,406	48,360 ※	4,942	4,959	6,782	610	17,293	51,346 ※	65,653 ※	94	129	32	255	※来場者数不明：24試合 【男子】ブロック戦×18、入替戦×3 【女子】ブロック戦×3						
2019	23,997 ※	25,998 ※	49,995 ※	4,598	54,593 ※	4,033	4,830	7,349	661	16,873	58,005 ※	71,466 ※	99	121	32	252	※来場者数確認中：7試合						

【来場者数の上位実績試合（800人以上）】

※ [赤太字の大学] 2010年以降で、3回以上の達成に関わったチーム

※ [青太字の大学] 2010年以降で、2回の達成に関わったチーム"

年	達成試合数	1,000人以上			900人以上			800人以上					
		性別	対戦相手	観客数	性別	対戦相手	観客数	性別	対戦相手	観客数			
2018	5	女子	11/4	【入替】東京学芸vs中央	1,186			男子	11/17	【入替】法政vs青山学院	854		
		女子	9/1	立教vs早稲田	1,138			男子	11/11	【入替】一橋vs明治学院	810		
		男子	9/6	法政vs立教	1,060								
2019	9	女子	8/12	日本体育vs立教	1,470	女子	8/31	慶應義塾vs明治	981	女子	8/11	青山学院vs早稲田	856
		女子	11/4	【入替】東海vs東京学芸	1,424			女子	8/11	明治vs成蹊	806		
		男子	8/31	東京大vs立教	1,196			男子	11/16	【入替】武蔵vs東海	800		
		男子	8/31	早稲田vs明治	1,133								
		女子	8/31	立教vs早稲田	1,052								

データをまとめるまではラグロスは他2つと比べると圧倒的に少なく、サッカーの方がラグビーと比べると知名度も高いため、観客動員数は圧倒的に多いだろうと思っていた。しかし、実際のデータを比べてみるとラグロスは想像通りだったが、ラグビーの方が明らかに多いことがわかった。サッカーの2年間の合計観客動員数平均：約15000人、1試合平均：約680人、最多動員数平均：約6000人。ラグビーの2年間の合計観客動員数平均：約13万、1試合平均：約1万、最多動員数平均：約40000人。ラグロスの2年間の合計観客動員数平均：約68,550人、1試合平均：約271人、最多動員数平均：1,305人となっている。ラグロスにおいては試合数が多いため動員数が多くなるため数値が大きくなってしまっているのは仕方ないが他の数値と比べると明らかに少ないことが分かった。また、前年と比べると数

値が伸びている。サッカーは全体の数値を比べると大きな変化は見られないが、ラグビーは2019年に行われたW杯の後の影響が強いのか数字を大きく伸ばしている。サッカーと比べると報道されている量はW杯開催頃、ラグビーの方が多いイメージではあったが最近ラグビーのニュースを見かけることは減っていると個人的に思う。競技人口もサッカーが436万人、ラグビーが90,764人（両方2018年調べ）とサッカーの方が明らかに多いのに、この差が出たのはかなり驚かされた。この差が出る理由を調べるために3つのスポーツの歴史を調べていこうと思う。

### 3-3. スポーツごとの歴史

3-1、3-2でサッカー、ラグビー、ラクロスの3つのスポーツを調べてきて、どんな歴史の積み重ねてきたのか、また人気になったタイミングを調査するため、スポーツごとに歴史を年表化してまとめてみた。年表は日本に伝わった年から現代までの大きそうな記事を各スポーツの協会公式ホームページやWikipediaを基に制作していく。

各スポーツの協会公式ホームページやWikipediaを基に制作していく。

サッカー	
年	出来事
1873	イギリスのアーチフィールド・ルアス・ダグラス海軍少佐が東京の築地の海軍兵学校といわれるところに教師として来日した。そこで生徒にサッカーを教えた。
1899	神戸の御影師範によりややく日本人だけのサッカーチームが初めて創る。師範学校でサッカーが取り入れられたことで、その後、教師となり全国に散った卒業生がサッカーの普及と指導に当たるようになって、サッカーは徐々に広まっていった。
1921	全国組織である大日本蹴球協会が設立され、同年から全日本選手権（天皇杯）が始まった。
1927	第8回極東大会フィリピン戦で、日本は国際大会初勝利し、1930年の第9回の極東大会では中華民国と同率ながら優勝する。
1929	日本は国際サッカー連盟（FIFA）に加盟した。
1936	ベルリンオリンピックでした。スウェーデンと対戦し3-2で勝利した。
1954	初めてW杯スイス大会の予選に出場したが、予選敗退に終わった。
1964	東京オリンピックでは、アルゼンチンに逆転勝ちベスト8に進出。日本のサッカーがようやく表舞台に上がってきた。
1965	日本サッカーリーグ（JSL）が設立され、これによって日本のサッカーのレベルは大幅に上がった。
1968	メキシコオリンピックで銅メダルを獲得するという快挙を成し遂げる。ところが、この快挙から長い低迷期を迎えることになる。
1986	日本サッカー協会が国外の日本人選手と国内の選手の2選手のプロ登録。これを機に数年のうちに多くの選手がプロとして登録し、次第にクラブのプロ化が意識されていった。
1988	日本サッカーリーグはリーグを盛り上げ、日本サッカーのレベルアップを図ろうと、「活性化委員会」を設置し検討を開始。そしてその議論から、プロリーグの設立という結論がもたらされる。
1990	「参加団体の法人化」「ホームタウン制の確立」「スタジアムの確保」「チーム組織の確立」「選手・指導者のライセンス」「分担金の抛出」などの正式なプロリーグ参加条件が提示され、再び日本リーグの全クラブなどに対する参
1991	2月にプロサッカーリーグへの参加10団体発表。7月には、日本発のプロサッカーリーグの正式名称が「Jリーグ（日本プロサッカーリーグ）」に決定。
1993	5月15日ついにJリーグが開幕し日本全土に旋風を巻き起こした。しかし、徐々に人気は衰え、低迷期を迎える。
2002	W杯で一気に盛り返しをはかる。



ラグビー	
年	出来事
1854~74	多くの西洋の習慣と同様に、ラグビーフットボールは日本に素早く伝来した。アメリカ合衆国が日本の開国を「砲艦外交」で迫ってから30年も経たない内に、ラグビーは外国人により日本でプレーされ、ラグビーが伝わると日本人はすぐに取り入れた。日本人の一部はラグビーの中に「武士道」を見出し、ラグビーの試合の価値を重んじた。
1975~84	空前の「ラグビーブーム」。83年10月2日、カーディフ・アームズ・パークにおいて、日本はウェールズとの試合で24対29の5点差まで追い上げ驚かせた。早明戦や早慶戦、全国大学ラグビーフットボール選手権大会、日本ラグビーフットボール選手権大会などの大会はTV中継もあり、会場はどこも満員。しかし、ワールドクラスでは弱小チーム。1975（昭和50）年のオーストラリア遠征-1980（昭和55）年まで、日本代表が勝利を収めたのはアジア選手権での韓国相手に3回のみ。それ以外では1引き分けを挟み19連敗中。81~83年には勝ったり負けたりと安定した成績は残せなかった。
1987	第1回ワールドカップに出場。3戦全敗で予選敗退に終わる。
1989	秩父宮ラグビー場で行われたスコットランドXVとの一戦に28-24で勝利。宿願のIRB常任理事国を破る金星を上げた。
1991	ワールドカップ初勝利
1995	ブルームフォンテーンの悲劇。第3回ワールドカップでの記録的惨敗。国内外メディアから「ブルームフォンテーンの悲劇、惨殺」「国辱」と呼ばれた。 アマチュア宣言」が撤廃され、プロもアマも認める「オープン化」が宣言された。
2015	第8回ワールドカップ。ラグビーワールドカップ2度優勝、当時世界ランク3位の南アフリカ代表「スプリングボックス」に初対戦ながら34-32で勝利。世界中のメディアから「W杯史上最も衝撃的な結果」「スポーツ史上最大の番狂わせ（ジャイアントキリング）」と報じられ、センセーションを巻き起こした。
2019	日本開催ワールドカップでの快進撃。予選プール1位通過で、史上初のラグビーワールドカップ決勝トーナメント進出&ベスト8入りの快挙を成し遂げた。
ラグロス	
年	出来事
1984	慶應義塾高校の学生が、『Men's CLUB（1984年2月号）』に掲載されていた記事等でラグロスを知り興味を持つ。
1986	慶應義塾大学新1年生となる学生たちが駐日アメリカ大使館に問合せをする。ノリオ・エンドー氏らの協力によって、慶應義塾大学にラグロスチーム（男子）が誕生。エンドー氏からスティック数本と基礎練習入門ビデオを受け取り、手探りで活動に向けた準備を進める。ボブ・スコット氏（米・ジョンスホプキンス大学体育部長 *当時）が来日。スティック約10本を受け取り、初めて本場ラグロスで行われている練習に沿った指導を受ける。
1987	日本ラグロス協会の設立。各大学の学生にチーム結成を促す。日本初のラグロス試合を行う。
1988	国内初のリーグ戦開催へ（学生）。
1990	第1回全日本選手権大会、開催
1993	全国に広める活動を始める。早慶戦やカップ戦などの試合を増やしたり、小学生を対象にしたクリニックを行う。
1996	世界大会を初めて開催。
2010	男子日本代表世界4位になる。

どのスポーツも起源まで遡ると同じような時代から存在するスポーツではあるが、ラグロスは他スポーツと比べると日本に伝えられたのが明らかに遅かったのが年表を見てわかる。3-2の最後に考察した現在の競技人口での差について年表を見て私なりに考察してみたところ、伝えられた目的にあるのではないかと思った。サッカーはあくまでスポーツとしての魅力を伝えられたもの。ラグビーには同じようにスポーツとしての魅力も伝えられたがその他に「武士道」を見出し一部の人の差があるのではないかと考えられる。命を懸けることに気持ちが進んでいけば心に刻まれていき戦争を乗り越え、後世に伝えられて今の形になっていると私は思う。なので、過去の競技者たちが今でも大学選手権に集まるのではないかと私は考えた。

また、サッカーの競技者が圧倒的に多い理由は結果を残してきたからだと言表を見て考えた。大きな出来事（W杯、Jリーグ開催など）やその後に目に見える功績をサッカーが残

し続けてきたのが人気を伸ばし続けてきた大きな要因であろう。中々代表戦で勝ち星を挙げることが出来なかったことがメジャー枠になれなかった理由であると思う。その点歴史は浅いがラグロスは代表戦などで結果を残していることが年表から確認することが出来るためこのまま右肩上がりに進めばどのスポーツよりも早くメジャーになれるのではないかと思う。

### 3-4. スポーツにおける教育の重要性

3-1 のアンケート結果にあったメジャースポーツ以外はやったことない人が多かったデータが取れたが、確かに私自身、学校授業の体育でも遊びでも経験したことも競技に触れるまで知らなかったこともあり、なぜ過去に体験したことがなかったのだろうか疑問に思った。ルールが難しいからなのか、危険性が高いのか、教育上何か問題があるのではないだろうかといくつかの推測を立てた。そもそも「体育」の目的は文部科学省によると、

「すべての子どもたちが、生涯にわたって運動やスポーツに親しむのに必要な素養と健康・安全に生きていくのに必要な身体能力、知識などを身に付けることをねらいとするものである。こういった観点から、体育の目的の具体的内容（すべての子どもたちが身に付けるべきもの）を考えると、体育の授業を通じて、すべての子どもたちに、以下のように、一定（ミニマム）の「身体能力」、「態度」、「知識、思考・判断」などを身に付けさせることが必要である。なお、「身体能力」、「態度」、「知識、思考・判断」の側面は、どれが優位にあるとか、より重要性が大きいということはない。例えば、「分かってできる」「できて分かる」という関係において身体能力の向上は知識に支えられ、それら身体能力と知識の向上の学習過程において「考える」「工夫する」という思考・判断が重要となる。さらに、その学習の積み重ねによって、望ましい態度として形成される。また、体育は他の教科・科目ではできない身体運動を通しての「経験」ができる教科・科目である。例えば、「身体を動かす楽しさ」に関する経験、「競争、達成」に関する経験、集団活動の経験などを行うことができる。このような「経験」は、初等中等教育修了の段階までに、すべての子どもたちが、「身体能力」、「態度」、「知識、思考・判断」をより確実に定着させる上で重要なものと考えられる。と記述されていた」。この記述を見て私は、あくまでも授業として行うのは、人間が生きてく上での必要なスキルを学習させることに目的があってそこにスポーツを合わせるのなら簡単にできるものが採用されるのは仕方がないだろうと思った。ラグビーやラグロスはルールも複雑で、手軽にできないし、何より、指導者が少なく安全性が欠けることから危険であり、現代の環境に於いて教育としては不向きなところがあるのではないかと私は思う。

#### 4. 分析結果及び結果からの考察

様々な分析を行ってきて分析結果を整理してみると、

##### ・3-1. スポーツにおける認知度調査

男性、女性ともにメジャースポーツは誰もが知っていてやったことあったりルールを理解している人は多いが、そうでないスポーツのイメージは出来るがルールを知らなかったり、難しいイメージを持たれている。また、好きになる理由は「楽しい」かどうかであること。

##### ・3-2. スポーツごとの集客状況

メジャーだからと言って必ずしも、試合を見に来る人が多いわけではなく、その時のニュースなどによって盛り上がりが大きく変化することがある。

##### ・3-3. スポーツごとの歴史

伝えられた時代が古いほど多くの人に認知されているが、目立った功績がないと拡散力が減少してしまい、多くの人に魅力が伝わりづらいことが考えられる。

##### ・3-4. スポーツにおける教育の重要性

教育において体育とはあくまで人間としての機能の強化、内面や外面の向上などを目的としており、そこにスポーツを取り入れるとどうしても誰もが簡単に出来て安全性の高いものが選択される。そのスポーツでしか体験できない経験、知識が多いスポーツが選択される。

つまり、このことから歴史が長く、話題性があり、ルールが簡単で親しみやすくて何より、「楽しい」スポーツが好まれていくのではないかとこの分析結果から考察した。

#### 5. おわりに

##### 5-1. まとめ

本研究では、スポーツにおける認知度、興味、歴史、目的に着目し、スポーツが人の心に与える認知度の差に結びついているのかを明らかにした、アンケート結果、集客状況、歴史、教育面といった様々なデータを分析し、認知度に差が出る理由として歴史が長く、話題性があり、ルールが簡単で親しみやすくて何より、「楽しい」スポーツが好まれていくのではないかと分析し、人の心に与える影響が大きく関わっていることを知ることが出来た。また、競技人口を増やすことも大事だが指導者を増やしていくことも大事であると私は思う。また、考察で安全性について述べたがその他にもスポーツの、スポーツでしかできない経験、知識などを教える指導者が必要不可欠であると思う。それをクリアしていかないことには何も伝えることが出来ず、何も進まないであろう。

たくさんの課題がある中で、私はそこに貢献できるようになりたいと考えている。

## 5-2. 今後の課題

アンケート結果ではたくさんの年齢層での比較であったり、集客分析では数多くのスポーツの違いを調査や研究の課題に対する課題も多く残ったが、今回の研究で取り上げはしなかったがメディアが与える影響も認知度・知名度に深く関わっていくのかも今後は研究対象として追加していきたいと考えている。

### 参考文献

- ・ 一般社団法人日本ラクロス協会アーカイブサイト「. Relax」  
<https://archive.lacrosse.gr.jp/>
- ・ soccerD.B. <https://soccer-db.net/competition/attendance.php?comp=1061&yr=2019>
- ・ 一般財団法人全日本大学サッカー連盟 [https://www.jufa.jp/news/news\\_incolle.php](https://www.jufa.jp/news/news_incolle.php)
- ・ 日本のサッカー競技人口数 | ランキングと競技人口数は関係あるの？  
<https://halftime-media.com/sports-market/japan-soccer-1/>
- ・ ラグビーの競技人口はどのくらい？日本は？世界は？ <https://sposhiru.com/85868>
- ・ 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 <https://www.rugby-japan.jp/>
- ・ 日本のラグビーユニオン <https://ja.wikipedia.org/wiki/>
- ・ 交易財団法人日本サッカー協会 (JFA) [http://www.jfa.jp/about\\_jfa/history/](http://www.jfa.jp/about_jfa/history/)
- ・ 全国大学ラグビーフットボール選手権大会 <https://ja.wikipedia.org/wiki/>
- ・ 「ラグビー日本代表の歴史」～1970-2019 にわかラグビーファンに贈るザックリまとめ！  
<https://hobby.red-cm.com/rugby>
- ・ 高橋幸一 スポーツの起源論  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/santhropology1999/2000/2/2000\\_2\\_75/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/santhropology1999/2000/2/2000_2_75/_pdf)
- ・ 共起語検索 <https://neoinspire.net/cooccur/>
- ・ 文部科学省HP  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/attach/1395089.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/attach/1395089.htm)